

刊夕 日五十二月一



紀元二千六百年の 記念事業に關の公園 郷社の改營もする勿來町

石城郡勿來町では年來目論見、並に幼児の遊具、ベンチ、指示板、指導板等の設置、櫻樹一千本の増植を來る三月から着手し前記神社改營は工費三萬圓を豫算し拜殿並に幣殿(二十二坪)のほか神饌所、祭器所を増築の計畫で本年十一月に着工翌十六年十月一日までに二百圓を投じ勝地の巡回道路開鑿、パーコラーの設備を

石城販利の業績良好 第十五回の決算總代會

石城販利利用組合では去る廿三日第十五回事業報告の總會を開いた同組合は農業倉庫及び茶種油、乾鰯經營が主たる事業で当期決算の資産廿萬四千五百六十七圓(貸借對照金)負債十萬三千五百七十九圓差引十萬九百八十七圓の帳尻で事業の概況を上げれば米國の國內産業策による輸入税の高課から一時輸出杜絶を見られた茶種油は其の後解禁され且つ國內の物資不足と支那那の輸入減から盛返して三千八百圓の利益を収め農倉に於ては米の増収から支米入庫前年より四千五百五十俵、麥四百餘俵、乾鰯約五百石の共に増加を見せ保管料八百圓を増収(農倉本年の利益金八百五十二圓)せるもの其の他損益計算の總益二萬二千九百九圓

平市愛婦から 九百七十二圓

平市愛婦分會に於ける愛婦大へへの義金募集は屢報の如く去る廿日以來幹部總出をもつて各分區別に行はれてゐたが昨廿四日全部を纏められた總額は九百七十二圓四十一錢に達し即日同會本縣支部に送金した

老翁炭焼で献金

石城郡植田町の仁井田佐川清(七十七)翁は此の老翁で炭焼

Table with 2 columns: 支那單語 (Chinese Single Words) and 支那單語 (Chinese Single Words). Includes words like 酸つばい, 酸つばい, etc.

酸つばいとは同一文字の酸でスアン、生まは同じく生でシオン、熟すと云ふことも熟でシオン、涼しいことは涼でリオン、寒いことは冷でロン、暖かいは暖でノオン又は和でホー、

百種に及ぶ 勞銀協定

平署では管内に於ける各勞銀協定に關し昨二十四日午前は市町村農家方面の勞銀を午後

嚴冬の滿洲視察より 第一信の一

一月四日(晴) 午前七時二分平驛發急行にて出發す、年頭の乗客にて車内身動きもならず上野驛まで立通す、午前十一時五十分頃上野驛より乗換え東京驛下車直ちに滿洲大使館經濟所に出頭して視察に關する指示を受けた、第一に感じたのは理事官初め役人が皆明瞭親切丁寧な事である、恰度滿洲國開拓總局の平川總務科長に會ふことが出来たが實に快活な熱心な方と感した、農林省の相當な地位に居られた人と聞え

優良貯蓄組合 同功績者表彰

國民貯蓄獎勵會では來る二月十一日の紀元節を以て優良貯蓄組合及び貯蓄獎勵功績者を表彰の筈であるが石城地方で表彰されるもの左記の如く決つた

戰地の便り 留守宅の御世話迄 誠に感謝に堪えず

兵士から銃後へ 石城郡御村の出身小宅通海軍三等水兵は同村銃後會へ金十圓を送り村民を感激させてゐる

留守宅の御世話迄誠に感謝に堪えず 拜復、嚴寒の候、内地の皆様にはますます御健康にて戰勝の春、光輝ある二千六百年を御迎へ遊ばれたる御事と存じ大慶至極に御座います、不肖私も渡滿以來二年、今更無事元氣にて皇軍の一員として國境の守りに活躍出来まことは銃後の方々の御蔭と厚く御禮申し上げます、斯く戰勝の新年を迎ふことが同慶の至りでありませぬ、私共のことはどうぞ御安心下さい、此の度はわざわざ慰問状を御送り下さり有かた御禮申し上げます、御書面によりましては郷土の發展振りを聞きまして唯々驚き居ります

天理教信徒 五十圓廿錢

平市天理教會警城分教會の信徒一同は静岡市の大火に對し五十圓廿錢の贈金を分教會の名で廿五日市役所へ見舞として送付方を寄託した

思ひまゝに 大森 勇

未だ見た事も聞いた事も想像した事もなかつたので、全く驚かされた。警報も度々越す事と見做すものなにも思つた。大正の始めシーメンス事件で政界が騒ぎ立てた頃銀製の軍艦の模型を賄賂に賣つた噂が八益散かつたが、この純金の舟も支那の事だもの政治の罪惡の大海を渡り渡つて來たのであるまいかと想像すると、淋しい思ひをさせられた。御事と云ふのが、何が何でも、御事と云ふので、お梅の花の蕊は露珠である。純金の舟は御事などに出て來るか如何かは知らぬが、私は

興亞の礎

石城郡出身勇士 石城郡正義上等兵、石城郡泉村の瀧尻出身、川口部下に活躍する十八日浙江省ソウリンチ附近の戦で戦死す、實家には母や(五)さんと姉みさを(三)さんのみ、出征前まで泉村の臨時線路工夫をつとめてゐた御鈴木惣太郎一等兵、石城郡四倉町の新町出身、舊服中支隊戦で戦死を遂ぐ、同君は倉次氏の二男で未だ獨身、出征前まで横須賀航空技術部に勤め母は昨年六月死亡、實家は父親はじめ長兄正雄君(三)のほか九人の弟妹あり弟藤雄君は近く入警次の重雄君は海軍を志願して合格してゐる、

期待に添ふやう及ばずながら努力仕り一日も早く東洋平和の爲め邁進いたす覚悟であります故御安心下さるやう先づは戰勝の春を迎へ皆々様の御健康御奮闘を祈願いたしこれに失禮いたします、 敬具



高田五郎 平市胡麻澤出身

爲めの事なのだらう。長郎は長さ二百五十七間、幅は二間位こつちの端に立つて向ふの端を眺めると、たゞ美觀に酔ふでしなう。自分は今清朝の宮殿の中に居るのだなと云ふ気分になる。長郎の天井に横木があつて、どの横木にも淺く浮刻されてゐる。長郎の終點に石舟(石舟)がある。石舟で造つた舟である。二階に上つて、西大后が文武百官を集めて長夜の宴を開いた處である。今は喫茶店になつて、排雲閣は京都の大極殿に似てと思つた。昆明湖に臨んで高さ二丈もある大理石に、

桑業方回

桑樹の蔬菜的栽培方法(下)

桑の裏作で附
一石二鳥の實

實生苗は三寸、小苗は四寸程度の間隔を置いて植え込み、その收穫後硫酸二十貫、過磷酸石灰六貫、硫酸加里五貫を施し八月一日には一反歩當り生葉で二百四十四貫、また條桑で收穫生葉を換算したときには二百八十五貫の收穫を挙げ、晩秋登では摘葉收穫百七十二貫、條桑收穫二百四十六貫の好成绩を示し初秋で摘葉し晩秋で條桑伐採すれば合計四百七十貫、初秋に條桑伐採をなし、晩秋に再發芽したものを摘葉すると二百七十八貫の普通栽培に比し絶對に遜色のない收穫となり實生の場合には晩秋登までそのまゝ放置しておいて三百八十九貫の收穫をあげた、この場合條桑收穫を實施してある地方に於ては根化したところ原苗を利用すれば頗る簡単に出来、また條桑收穫はそのまゝ利用したいものは實生苗、原苗を利用すればよいので肥料は糞糞堆肥(六百貫)で充分である、

右の如くであつて收量に對して絶對好成绩を示し、しかも收穫時間は摘葉十貫百八十七分、條桑十分乃至二十分と從來の十分の一でもつて済み勞力も非常に節減が出来て生葉一貫目の生産に桑葉二十貫を要すると云ふ從來の統計に從へば反當二十貫の量が麥畑で裏作される際で麥と桑の同時

増産に邁進出来るわけとなる
……(終り)……

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

附屬産院 新設

妊産婦入院隨意

産科 婦人科 **木村病院**

平市 新川町
電話 一六四番

根本 婦人科醫院

根本 莊次郎
根本 貞雄
平市 南町
電話 三四番

(入院隨時)

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二三三番)

脚麻氣管支關節神經痛肺炎ロイマチス
……扁桃腺中耳炎骨膜炎腰痛痔瘡……

生公華

藥價
九十五錢
二圓千錢
四圓

……濕布で名藥……
山野邊藥局

治淋 新藥 號七〇六

安田系統の帝國海上

帝國 海上 保險株式會社

平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市三丁目 電話一六番



店商屋釜

九九・九電

和洋銅鐵、金物問屋

御婚禮着付

和洋結髮

パマネント・ウエーブ

何卒御用命の程を

手塚美容院

(徒弟入用)

平市新田町

貸衣裳、貸か
つらを御利
用下さい

國民精神總動員

日本國民必見の書……

内閣情報部發行

寫眞週報

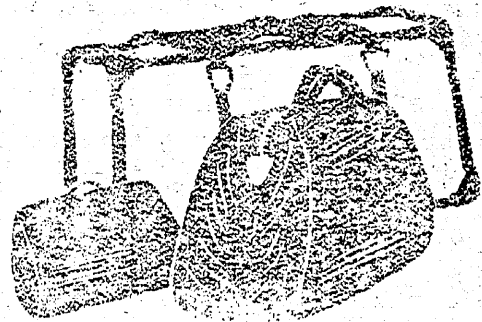
1部10セン

お取次致して居ります

西村屋藥局

電話三

カバと洋品類



眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新)

電話五九二番

食 事
喫 茶
酒場を兼ねた。

レストラン **ザロ**

平市銀座街

診療科目

一、齒科一般

保存科、補綴科、繼續架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿瘍科、

二、口腔外科

三、レントゲン科

平市田町(松月堂向)

中西齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野照次
主任 日本醫學士 藤谷伍郎
主任 佐藤重義

一般印物もお引受致します

新しいわき新聞社